

<b>THOMSON</b> * <b>DELPHION</b>		<b>RESEARCH</b>	<b>PRODUCTS</b>	<b>INSIDE DELPHION</b>
<a href="#">Log Out</a>	<a href="#">Work Files</a>	<a href="#">My Account</a>   <a href="#">Products</a>	Search: <a href="#">Quick/Number</a> <a href="#">Boolean</a> <a href="#">Advanced</a> <a href="#">Derwent</a>	<a href="#">Help</a>

## The Delphion Integrated View

Buy N w: <input checked="" type="checkbox"/> PDF   <a href="#">More choices...</a>	Tools: Add to Work File: <a href="#">Create new Work File</a> <input checked="" type="checkbox"/> <a href="#">Go</a>
Vi w: <a href="#">INPADOC</a>   Jump to: <a href="#">Top</a> <input checked="" type="checkbox"/> Go to: <a href="#">Derwent</a>	<input checked="" type="checkbox"/> <a href="#">Email this to a friend</a>

🔍 Title: **JP9241131A2: HAIR TONIC**

🔍 Derwent Title: Hair growing agent - comprising water-swelled product of sodium montmorillonite, and natural remedies [\[Derwent Record\]](#)

🔍 Country: **JP** Japan  
 🔍 Kind: **A**

🔍 Inventor: **TEZUKA HIROMU;**  
**TEZUKA KAZUYO;**

🔍 Assignee: **NENDO KAGAKU KENKYUSHO:KK**  
**NAGANO GOZO**  
[News, Profiles, Stocks and More about this company](#)

🔍 Published / Filed: **1997-09-16 / 1996-03-01**

🔍 Application Number: **JP1996000068972**

🔍 IPC Code: **A61K 7/06;**

🔍 Priority Number: **1996-03-01 JP1996000068972**

🔍 Abstract: **PROBLEM TO BE SOLVED:** To obtain a hair tonic containing the composite clathrate of various hair growth raw materials such as galenicals, a lipase-inhibiting agent and a lipid peroxide-inhibiting agent and water-swollen product of sodium montmorillonite, etc., as a medium means, and exhibiting a remarkable effect capable of acting on hair roots.

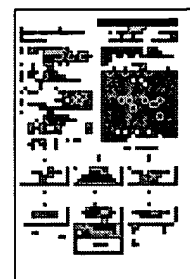
**SOLUTION:** This hair tonic is obtained by adding one or more kinds of materials selected from galenicals such as Symphytum officinale extract, Chlorella pyrenoidosa extract and Ginkgo biloba leaf extract, lipase-inhibiting agents such as Spindus mukurossi extract, Cinchona succirubra extract and Glycyrrhiza extract, lipid peroxide-inhibiting agents such as Arnica montana extract and Paeonia lactiflora extract, and compounds such as photosensitive element 103 and tyrosine to the water-swollen product of sodium montmorillonite among natural or synthetic smectites. A composite clathrate obtained by adding amino peptides obtained by the enzymatic decomposition or acidic or basic hydrolysis of silk-originated fibroin or sericin to the water-swollen product of aluminum magnesium silicate or hectorite may further be added to the above system.

**COPYRIGHT:** (C)1997,JPO

🔍 INPADOC None **Buy Now:** [Family Legal Status Report](#)

Legal Status:  
 🔍 Family: [Show 2 known family members](#)

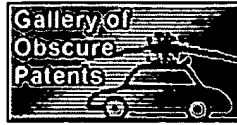
🔍 Other Abstract **CHEMABS 127(18)252976V CAN127(18)252976V DERABS C97-508768**



[View Image](#)

1 page

Info: DERC97-508768



[Nominate](#)



[this for the Gallery...](#)

© 1997-2003 Thomson Delphion    [Research Subscriptions](#) | [Privacy Policy](#) | [Terms & Conditions](#) | [Site Map](#) | [Contact Us](#) | [Help](#)

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-241131

(43) 公開日 平成9年(1997)9月16日

(51) Int.Cl.<sup>6</sup>

A 6 1 K 7/06

識別記号

庁内整理番号

F I

A 6 1 K 7/06

技術表示箇所

審査請求 有 請求項の数 2 F D (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平8-68972

(22) 出願日 平成8年(1996)3月1日

(71) 出願人 000129965

株式会社粘土科学研究所

東京都江戸川区東葛西5-53-1

(71) 出願人 596117418

永野 剛蔵

東京都新宿区西新宿3-15-5-715

(72) 発明者 手塚 照

東京都江戸川区東葛西7-25-5

(72) 発明者 手塚 和代

東京都江戸川区東葛西7-25-5

(74) 代理人 弁理士 甲斐 正憲

(54) 【発明の名称】 養毛剤

(57) 【要約】

【課題】 ソジウム・モンモリロナイトの水膨潤体が養毛成分となる各種有機化合物等を包接及び複合する性質を利用してなる養毛剤を提供する。

【解決手段】 天然又は合成のスクメタイトのうちのソジウム・モンモリロナイトの水膨潤体又は同様効果を有する水膨潤体に、育毛効果を有する生薬、リパーゼ阻害剤、過酸化脂質抑制剤、その他の素材を添加してなる。

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 天然又は合成のスクメタイトのうちのソジウム・モンモリロナイトの水膨潤体に、コンフリーエキス、クロレラエキス、イチョウ葉エキス、センブリエキス、ニンジンエキス、クジンエキス、 $\beta$ -グリチルレチン酸、トウガラシチンキ、トウキエキス、ショウキョウチンキ、キンギンカエキス、チンビエキス、オトギリソウエキス、ゲンノショウコ、ペパーミントエキス、ローヤルゼリエキス、ホップエキスの各生薬のうちの1種又は2種以上と、ムクロジエキス、キナエキス、カンゾウエキス、ソウハクヒエキスの各リパーゼ阻害剤のうちの1種又は2種以上と、アルニカエキス、シャクヤクエキス、ジュエキシ、オウゴンエキス、メリッサエキスの各過酸化脂質抑制剤のうちの1種又は2種以上と、感光素103、アラントイン、コンソリジン、バントテン酸、ロスマリン酸並びにチロシン、アスパラギン酸、グルタミン酸、タウリン、シスチンの各アミノ酸又はゲンチアナエキス、カフェインの各アルカロイドピロリドンカルボン酸ナトリウム、アセチル-L-メチオニン、L-セリン、メチオニンのうちの1種又は2種以上を添加してなる養毛剤。

【請求項2】 天然又は合成のスクメタイトのうちのソジウム・モンモリロナイトの水膨潤体又はケイ酸アルミニウムマグネシウムの水膨潤体或いはヘクトライトの水膨潤体に菌糸由来のフィブロイン又はセルシンの酵素分解或いはアルカリ、酸による加水分解から得られるアミノペプチドを加えてなる複合包接化合物に対し、コンフリーエキス、クロレラエキス、イチョウ葉エキス、センブリエキス、ニンジンエキス、クジンエキス、 $\beta$ -グリチルレチン酸、トウガラシチンキ、トウキエキス、ショウキョウチンキ、キンギンカエキス、チンビエキス、オトギリソウエキス、ゲンノショウコ、ペパーミントエキス、ローヤルゼリエキス、ホップエキスの各生薬のうちの1種又は2種以上と、ムクロジエキス、キナエキス、カンゾウエキス、ソウハクヒエキスの各リパーゼ阻害剤のうちの1種又は2種以上と、アルニカエキス、シャクヤクエキス、ジュエキシ、オウゴンエキス、メリッサエキスの各過酸化脂質抑制剤のうちの1種又は2種以上と、感光素103、アラントイン、コンソリジン、バントテン酸、ロスマリン酸並びにチロシン、アスパラギン酸、グルタミン酸、タウリン、シスチンの各アミノ酸又はゲンチアナエキス、カフェインの各アルカロイド、ピロリドンカルボン酸、アセチル-L-メチオニン、L-セリン、メチオニンのうちの1種又は2種以上を添加してなる養毛剤。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、ソジウム・モンモリロナイト並びにその関連物質の夫々の水膨潤体を主体としこれらに、育毛効果を奏する各種素材を添加してな

る養毛剤に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、多数の養毛剤、育毛剤が上市されているが、いずれもその効果において、いま一步というのが実状であった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】本発明は、毛根に作用する各種育毛効果を奏する素材の媒体的供給手段として、ソジウム・モンモリロナイト等の水膨潤体を適用することを重要な特徴事項とするものである。即ち単に水又はアルコール溶液をキャリアーとして育毛素材を毛根に直接的に供給するものではなく、ソジウム・モンモリロナイトの水膨潤体は当然水を吸収又は吸着するものであるが、同時に多くの育毛効果を奏する素材を包接し、例えばアミン、アルコール類、擬酵素であるシクロデキストリン等の大型立体的分子さえも包接する性質を有する。さらに、水膨潤体は、養毛剤にとって必須の添加剤ともいべきペプチド、アルカロイド、脂肪酸、糖類、アミノ酸素を複合するものであるともいわれている。上述の包接及び複合の現象は、ソジウム・モンモリロナイトの化学的活性が極めて大であることを示すもので、その結果、毛根を必然的に刺激し養毛・育毛の効果を一段と高めることとなって、従来の養毛剤・育毛剤と比較して顕著な効果を奏しうるものと思料されるのである。

【0004】

【課題を解決するための手段】本願に係る第1発明は、  
A. 天然又は合成のスクメタイトのうちのソジウム・モンモリロナイトの水膨潤体に、  
B. コンフリーエキス、クロレラエキス、イチョウ葉エキス、センブリエキス、ニンジンエキス、クジンエキス、 $\beta$ -グリチルレチン酸、トウガラシチンキ、トウキエキス、ショウキョウチンキ、キンギンカエキス、チンビエキス、オトギリソウエキス、ゲンノショウコ、ペパーミントエキス、ローヤルゼリエキス、ホップエキスの各生薬のうちの1種又は2種以上と、  
C. ムクロジエキス、キナエキス、カンゾウエキス、ソウハクヒエキスの各リパーゼ阻害剤のうちの1種又は2種以上と、  
D. アルニカエキス、シャクヤクエキス、ジュエキシ、オウゴンエキス、メリッサエキスの各過酸化脂質抑制剤のうちの1種又は2種以上と、  
E. 感光素103、アラントイン、コンソリジン、バントテン酸、ロスマリン酸並びにチロシン、アスパラギン酸、グルタミン酸、タウリン、シスチンの各アミノ酸又はゲンチアナエキス、カフェインの各アルカロイドピロリドンカルボン酸ナトリウム、アセチル-L-メチオニン、L-セリン、メチオニンのうちの1種又は2種以上を添加してなる  
F. 養毛剤を要旨とするものであり、さらに、第2発明

3

4

は、主体の範囲をソジウム・モンモリロナイト並びに更に範囲を拡げて、ほぼ同様に添加物質の包接、複合の性質を有するケイ酸アルミニウムマグネシウムの水膨潤体或いはヘクトライトの水膨潤体を加え、これらの水膨潤体に、菌糸由来のフィブロイン又はセルシンの酵素分解或いはアルカリ、酸による加水分解から得られるアミノペプチドを加えてなる複合包接物を主体とし、これに第1発明で添加された各種育毛効果を有する素材を添加\*

\*してなる養毛剤をその要旨として成立するものである。

【0005】

【実施例】以下、本発明に係る養毛剤の好ましい組成例を示す。数字は、重量部である。いずれの例にあって、従来市販の養毛剤に比較して顕著な養毛・育毛効果が示された。

組成例1

精製水	30.0	～40.0
ソジウム・モンモリロナイト	0	～0.5
フィブロイン酵素分解ペプチド	0	～0.5
オトギリエクス	1.0	～3.5
センブリエクス	2.0	～5.5
ペパーミントエクス	5.0	～12.0
ニンジンエクス	5.0	～9.0
クジンエクス	1.0	～3.0
ローヤルゼリーエクス	2.0	～6.0
グリチルリチン酸ジカリウム	0	～0.2
感光素103	0	～0.01
エタノール	25.0	～30.0
フェノキシエタノール	0.4	～0.6
乳酸ナトリウム	0.4	～2.0

以上を合計して100重量部とする。

組成例2

精製水	25.0	～40.0
ソジウム・モンモリロナイト	0.01	～0.5
セルシン酵素分解ペプチド	0.01	～0.5
コンフリーエクス	2.0	～4.5
イチョウ葉エクス	1.0	～3.0
キンギンカエクス	3.5	～5.6
ホップエクス	1.0	～4.8
アルニカエクス	3.0	～6.0
ジュエクス	3.0	～4.0
ソウハクヒエクス	1.0	～6.0
オトギリソウエクス	1.0	～3.0
エタノール	20.0	～35.0

以上を合計して100重量部とする。

組成例3

精製水	26.0	～30.0
ケイ酸アルミニウムマグネシウム	0.01	～0.3
セルシン酵素分解ペプチド	0.01	～0.5
タウリン	1.5	～3.0
クロレラエクス	0.3	～1.2
シャクヤクエクス	2.6	～4.4
トウガラシチンキ	0.1	～0.3
ニンジンエクス	2.5	～4.0
メチオニン	1.3	～3.3
Ｌ-セリン	0.4	～2.2
ゲンチアナエクス	0.2	～0.8
感光素103	0.001	～0.005

(4)

特開平9-241131

5

6

エタノール

30.0 ~ 36.0

以上を合計して100重量部とする。

【0006】

【発明の効果】上記、いずれの組成例の養毛剤も、市販の養毛又は育毛剤に比較して、顕著な養・育毛効果を奏

し例えば単位面積当り発毛率が2倍以上あり毛髪の減少がないとの報告もあり、本発明の目的が十分に達せられた。